

陳情第12号「流山おおたかの森駅周辺のパチンコ店建設に関する陳情書」
陳情第13号「流山おおたかの森周辺の環境（景観・治安）維持を求める陳情書」
陳情第17号「流山おおたかの森駅周辺の街づくりに関する陳情書」

陳情第12号「流山おおたかの森駅周辺のパチンコ店建設に関する陳情書」陳情項目1・2・3及び陳情第13号「流山おおたかの森周辺の環境（景観・治安）維持を求める陳情書」並びに陳情第17号「流山おおたかの森駅周辺の街づくりに関する陳情書」につきましては、全て賛成の立場で討論をいたします。

パチンコ店出店を巡って今不安が広がっています。この背景には、流山市としての見通しの甘さという所にとどまらず、市民からの指摘があったにもかかわらず、それを聞き入れませんでした。自ら作成をした都市計画マスタープランでは、地権者、市民、行政、事業者間で課題を共有し解決できる協議の場や仕組みづくりが提起されていたにもかかわらず、不十分な取り組みに終わりました。

パチンコ店出店という事態を把握していてもすぐわない施設ではないとし、中止断念を迫りませんでした。私は、強くこの姿勢に猛省を求め、遺憾を表明するものです。地権者とも最後まで出店断念へ汗を流すべきではなかったかと考えます。

それは、駅西口が果たすべき役割や都市像を考えれば、おおたかの森に駅から通じる道は西口にしかならず、西口ロータリーは将来にわたって本市の顔というべきところです。また、小中学校併設校を誘致した場所も西口ロータリーから行ける場所があります。そういう自然や教育、また街そのもののイメージ向上を実現する上で、今回市民や住民を不安や危機感をもたらしているパチンコ店出店という問題は大きい問題があると言わなければなりませんし、その大きな背景は、市長が進めてきた規制緩和の地区計画の導入があります。

私たち日本共産党は、今進められている街を壊すやり方ではなく、地域住民とも地権者とも情報を共有し、より良い街を一步一步作る立場でこれからも奮闘をする決意を表明し、今回陳情第12号、陳情第13号、陳情第17号については、それぞれの項目もそれぞれの陳情書も賛成といたします。